

# 取扱説明書

EV パワー・ステーション  
「パワー・ムーバー」  
VPS-4C1A

このたびは、EV パワー・ステーション「パワー・ムーバー」VPS-4C1A を  
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。  
また、保証書とともに大切に保管してください。

# 目次

本機の特長	2
安全のために必ずお守りください	3
取扱上のお願	5
各部の名前とはたらき	6
運転状態ランプの見方	7
開始手順	8
終了手順	10
フィルタ脱着手順	11
フィルタ（正面）の脱着手順	11
フィルタ（右側面）の脱着手順	12
本機の運搬方法	13
保管・お手入れの方法	14
長期間で使用にならない場合	14
快適にご使用いただくために	14
給電コネクタが取り外せなくなった場合の処置	15
こんなときは	16
電源が入らない	16
運転準備完了にならない	16
開始ボタンを押しても出力中にならない	16
使用する電気機器の電源が入らない	16
運転状態ランプが点滅している	17
運転中に一部の電気機器の電気が切れた	17
運転が停止した	17
保証とアフターサービス	18
保証について	18
アフターサービスについて	18
困ったときの連絡先	18
仕様	18

## 本機の特長

本機は、電気自動車（EV）の蓄電能力、プラグインハイブリッド車（PHV）\*の発電・蓄電能力、燃料電池車（FCV）の発電能力を活用し、電気機器に電力供給を行う装置（V2L：Vehicle to Load）です。

\* 車両仕様により使用に制限が有る場合があります。

### ▶ 避難所の備え、企業のBCP、アウトドアのレジャー、各種イベント活動などに

万一の災害発生時に、EV、PHV、FCVなど先進のエコカーと本機を活用することで避難所では最低限の電気の確保が可能になります。  
また、アウトドアのレジャーや各種イベント活動に使用することもできます。

### ▶ 簡単な操作で誰でもすぐに取り扱いが可能



簡単な操作で家電機器に電力を供給できます。また、伸縮式キャリーバー・キャスター付きで、スムーズな持ち運びが可能です。

### ▶ 環境負荷の低減

同等出力のガソリン式発電機に比べ小型・軽量で環境負荷（排気ガス・騒音）は、非常に小さくなります。

# 安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
  - お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。
- ここに示した事項は、**⚠警告** **⚠注意**に区分しています。

	<b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重症を負う可能性が想定される場合。
	<b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

絵表示については次のような意味があります。







	<b>*必ずアース線を接続</b> 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		<b>*感電注意</b> 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	<b>*一般的な禁止</b> 特定しない一般的な禁止の通告		<b>*分解禁止</b> 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	<b>*一般的な指示</b> 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

## **警告**

<p>■ 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、給電中の本機からの電磁波が、ペースメーカ、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給電中の本機に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。</li> <li>● 本機本体および給電コネクタに密接するような姿勢はとらないでください。</li> <li>● 本機を操作する必要がある場合は、他の方をお願いしてください。</li> <li>● 詳細は、一般社団法人日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。</li> </ul>		
<p></p> <p>■ 人命に直接かかわる医療機器などは接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身体の安全を損ねる場合があります。</li> </ul>	<p>■ 濡れた手で触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電の原因となります。</li> </ul>	<p>■ コネクタの金属接点に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高い電圧が加わり、感電の原因となります。</li> </ul>
<p></p> <p>■ 分解・改造をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul>	<p>■ アース線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続しないと、感電の原因となります。</li> </ul>	<p>■ 移動・運搬・車両への積み下ろし時に大きな振動や衝撃を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul>
<p></p> <p>■ 運搬中に落下させない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul>	<p>■ 無理な姿勢で運搬しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul>	<p>■ 上に乗ったり、座ったり、物を載せない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。</li> </ul>
<p></p> <p>■ キャリーハンドルを使用して移動する時に足を踏んだり、手を挟まない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul>	<p>■ 運搬・車両への積み下ろし時は、2人以上で持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人での移動は、けがの原因となります。</li> </ul>	<p>■ 悪路では移動しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul>
<p></p>	<p></p>	<p></p>

<p>■ 不安定な場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 本機のふたの開閉時や強風時はふたでの手の挟み込みに注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 給電コネクタの落下に注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに引っ掛からないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルを引っ張りすぎないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルの被覆が劣化、摩擦、破損しないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 人、自転車、車両などに給電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルを踏まれないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ アタッチメントの脱着時は注意して作業する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul> 	<p>■ お子様だけでは使わせない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブルが首に巻きついたり、コンセントを触ったりするなどして、けが・感電・やけどの原因となります。</li> </ul> 
<p>■ コンセントカバーで手を挟まないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● けがの原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 排気口に近づかない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高温のため、やけどの原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 動作中に移動させない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 水濡れ、浸水しないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 動作中に車両を移動させない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ ペット、お子様などがコンセント部を触ったり、なめたりしないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 汚れたり、濡れたプラグは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 火災・感電・故障の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ ふたの開め忘れに注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部の部品が落下し、けがの原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 車両のエンジンやマフラー近くには設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 車両のエンジンやマフラーなど、熱くなる物に近い場所には設置しないでください。装置が破損して、火災の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 可燃性ガスや引火物を近くに置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する可能性があります。</li> </ul> 	<p>■ 給電以外の用途に使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 火災・感電・故障の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品および殺虫剤を本体に吹きかけない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。</li> </ul> 


## ⚠ 注意

<p>■ 雨、雪など水のかかる状況では運搬しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電や火災の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 重い物を上に載せない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 直射日光のあたる場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 雨、雪など水のかかる場所には保管、設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 海水がかかったり、潮風が当たる場所には保管、設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 温泉、火山など、腐食性ガスがかかる場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 

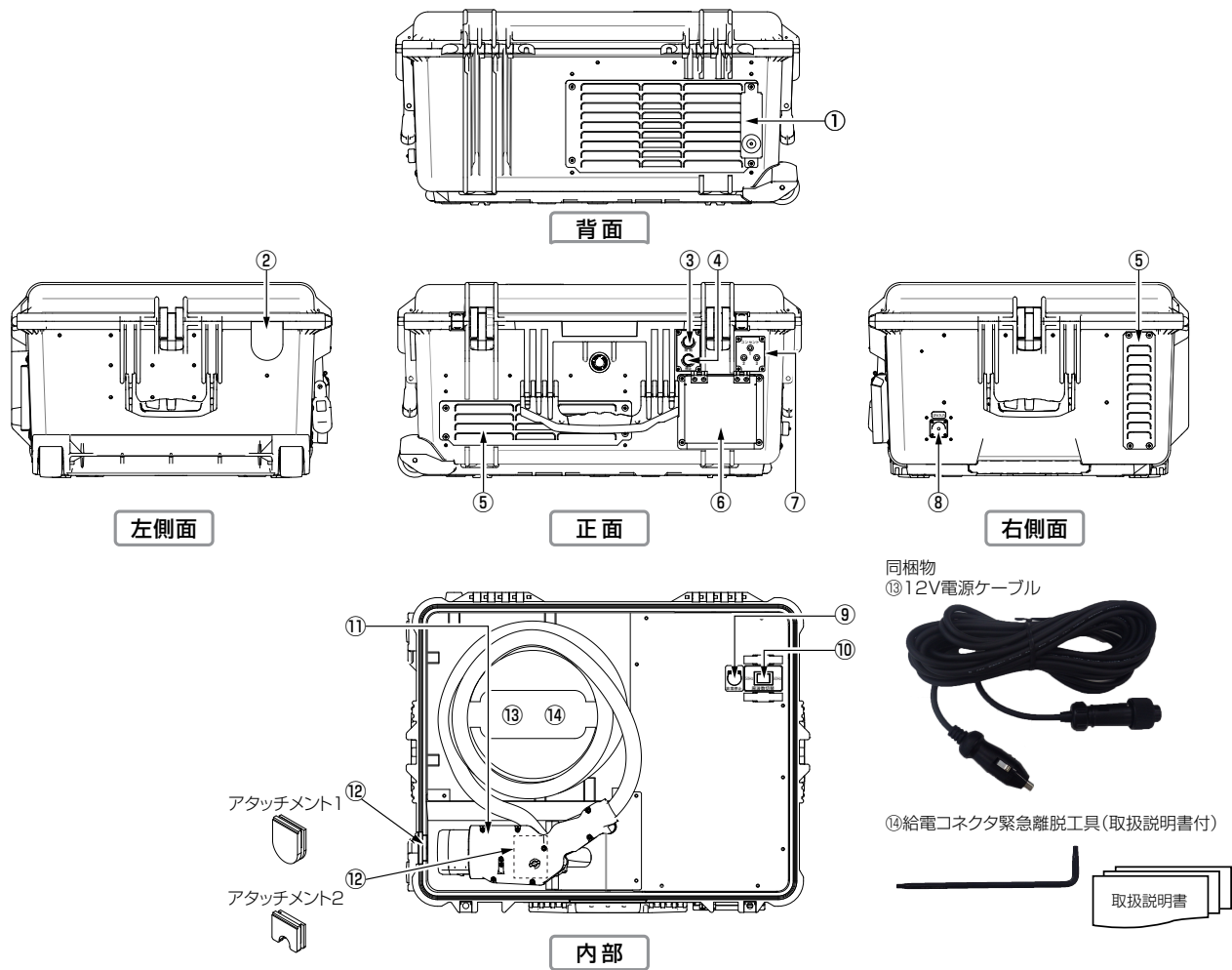


<p>■ 高温、多湿な場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 低温な場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 強電磁場な場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 砂、粉塵の多い場所には保管・設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 昆虫、小動物の多い場所での保管・設置・使用はしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 昆虫や小動物、ペットなどの糞尿がかかる場所には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 車両内には保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 指定の方向以外では保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 周波数の設定を間違えないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続した電気機器の破損、発煙、発火の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 電気機器のプラグはコンセントに完全に挿し込む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 挿し込みが不完全な場合、感電の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 雷が鳴り出したときは、使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 落雷による感電などの恐れがあります。</li> </ul> 	<p>■ 給電コネクタを無理に引き抜かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損して、感電の原因となります。</li> </ul> 
<p>■ アタッチメントをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アタッチメントの付け忘れによる浸水で、装置が破損して、感電の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ フィルタを清掃する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 清掃し忘れると、装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ フィルタをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フィルタをつけ忘れると、異物が混入して装置が破損する原因となります。</li> </ul> 
<p>■ 吸気口から内部を触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 洗車時に洗剤や水がかからないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗剤や水が内部に侵入し、破損や感電の原因となります。</li> </ul> 	<p>■ 溶剤や硬いブラシで清掃しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります。</li> </ul> 
<p>■ ラベルを剥がしたり、色を塗ったりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 注意事項や操作方法を確認できなくなります。</li> </ul> 	<p>■ 不法、不適切な廃棄をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置を廃棄する場合は、弊社のお客様相談室にご相談ください。(18 ページ)</li> </ul> 	<p>■ 駐車場所に注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給電中にエンジンがかかる車両に接続する場合は、必ず屋外の風通しの良い場所に駐車してください。</li> </ul> 
<p>■ 吸気口、排気口を塞がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置が破損する原因となります</li> </ul> 		

## 取扱上のお願ひ



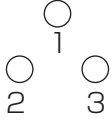
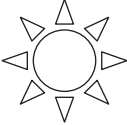

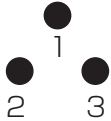


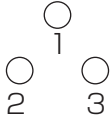

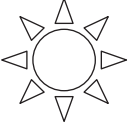
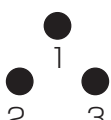


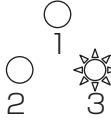
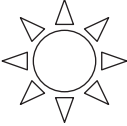

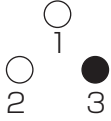


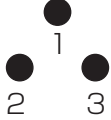
	<p>■ 次のような場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 標高 1600m より高いところ</li> <li><input type="checkbox"/> 海水がかかったり、潮風が当たる場所</li> <li><input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ</li> <li><input type="checkbox"/> 油蒸気のあるところ</li> <li><input type="checkbox"/> 浸水の恐れがあるところ</li> <li><input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ</li> <li><input type="checkbox"/> 直射日光があたり、結露および氷結のあるところ</li> </ul> <p>※ 次の温度範囲外のところでは動作が保証されません。 温度：- 10℃～+ 40℃</p>
---	--


# 各部の名前とはたらき



①	排気口	本機内部の熱を排気します。
②	ケーブル入線口	給電コネクタケーブルの入線口です。
③	開始ボタン (ランプ)	AC100V の供給を開始します。
④	停止ボタン (ランプ)	AC100V の供給を停止します。
⑤	吸気口	冷却するための空気を取り込みます。
⑥	コンセント口 (3 個)	接続する電気機器の電源プラグを挿し込みます。 (AC100V 15A 以下 3 個)
⑦	運転状態ランプ	運転状態を表示します。
⑧	12V IN	12V 電源ケーブルを接続します。
⑨	非常停止ボタン	動作を緊急停止します。
⑩	周波数切替スイッチ	接続機器に応じた出力周波数 (50Hz ⇄ 60Hz) に切り替えます。
⑪	給電コネクタ	車両に接続し、車両のバッテリーから電力を取り出します。
⑫	アタッチメント 1、2	ケーブル入線口からの粉塵や水の侵入を防ぎます。
⑬	12V 電源ケーブル	車両から起動用電源を取り出すためのケーブルです。 (車両により必要な場合があります。)
⑭	給電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)	給電コネクタが車両の給電口から取り外せなくなった場合に、給電コネクタを取り外すための工具です。

# 運転状態ランプの見方

ランプの状態			状態	内容
開始ランプ	停止ランプ	運転状態ランプ		
			通電中	電源が入りました。
			運転準備完了	開始ボタンを押せば、コンセントに電源を供給できます。
			出力中	コンセントに電源プラグを挿せば、電気機器が使用できます。
			停止準備中	運転を停止する準備をしています。
		 該当数字点滅	過負荷発生中	電気を使い過ぎています。 点滅している番号のコンセントで使う電気を減らしてください。
		 該当数字消灯	過負荷停止中	電気に使用量がコンセント容量を超えたため、出力を停止しています。 該当コンセントで使う電気を減らした後、開始ボタンを押してください。
			異常停止中 または 非常停止中	異常が発生したか非常停止ボタンが押されたため、停止しています。 処置方法は、「運転が停止した」(17 ページ)の内容を確認してください。

○ : 点灯       : 点滅      ● : 消灯

# 開始手順

- 車両を給電する状態にしておいてください。  
車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
- 本体、ケーブルの破損やフィルタの目詰まりがないか点検してください。
- 水平で安定した場所に設置してください。

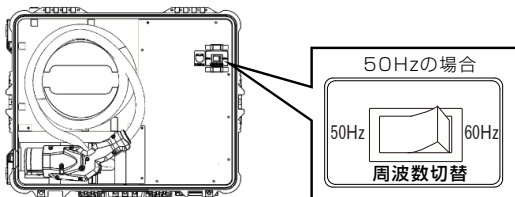
- ① 本機を車両の給電口付近に設置する。
- 大地にアースされている電気機器を接続する場合は、本機も大地に接続してください。  
- アース設置には「電気工事士」の資格が必要です。

⚠ 警告	
⊘	• 風通りの良い場所に設置してください。
	• 車内やエンジン、マフラーの近くには設置しないでください。
	• 雨や雪など水がかかる場所、湿気の多い場所に設置しないでください。
	• 直射日光のあたる場所に設置しないでください。

- ② ふたを開ける。

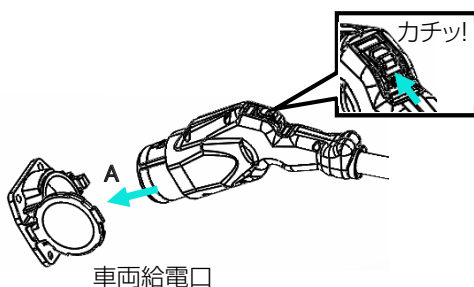
⚠ 警告	
⊘	• 手の挟み込みに注意してください。

- ③ 接続機器に応じた出力周波数に設定する。

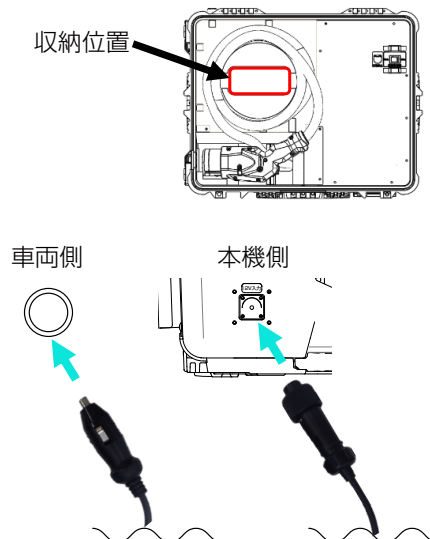


⚠ 警告	
⊘	• 接続機器の故障につながるので、必ず電源投入前に設定してください。

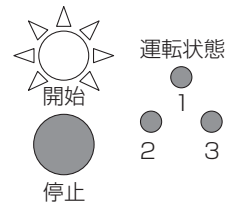
- ④ 給電コネクタを車両の給電口に挿し込む。
- 給電コネクタからカチッと音がするまで押し込んでください。



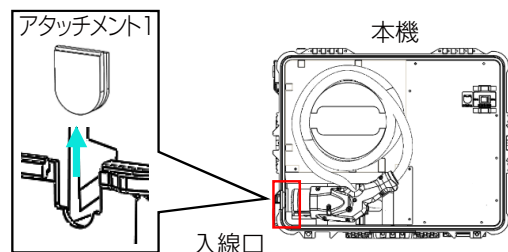
- ⑤ 開始ボタンが点滅しない場合は、付属の 12V 電源ケーブルを使って車両と本機の 12V IN を接続する。
- 車両により不要な場合があります。
  - 12V 電源ケーブルは本機の下図の位置に収納しています。



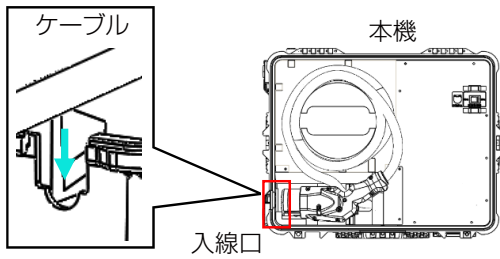
- 開始ボタンが点滅し、運転準備完了となります。



- ⑥ 本機のアタッチメント1を取り外す。

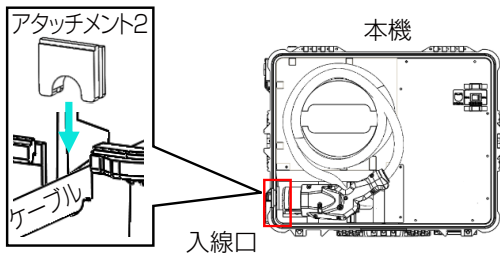


⑦ ケーブル入線口に給電ケーブルを入れる。



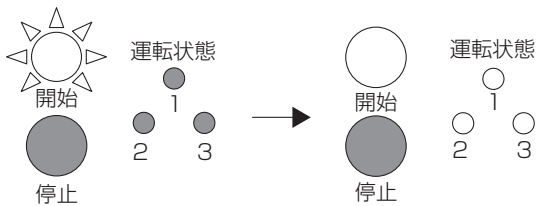
⑧ アタッチメント2を取り付け、ふたを閉める。

⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全および防水のため、必ずふたを閉めロックしてください。</li> <li>手の挟み込みに注意してください。</li> </ul>



⑨ 開始ボタンを押す。

- 開始ボタンが点滅から点灯に変わり、運転状態ランプが点灯すると給電開始となります。



- 開始ボタンは、硬いものや先が鋭利なもので押さないでください。
- 電気を使いすぎた場合や本機内の温度が高くなった場合など、保護機能が働いて運転を停止する場合があります。
- 運転中、本機に異常を感じた場合は、直ぐに使用を中止し弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)

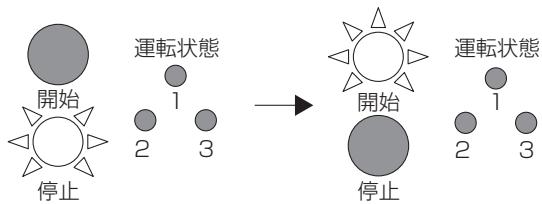
⑩ 電気機器のプラグをコンセントに挿し込む。

⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命に直接かかわる医療機器などは接続しないでください。</li> <li>濡れた手で挿し込まないでください。</li> <li>汚れたプラグ、濡れたプラグは使用しないでください。</li> <li>プラグは完全に挿し込んでください。</li> </ul>

⚠ 注意	
⚠	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転中は移動させないでください。</li> <li>ケーブルを踏まれたり、引っ張られたりしないよう注意してください。</li> <li>高温になるため、運転中は排気口にふれないでください。</li> </ul>

# 終了手順

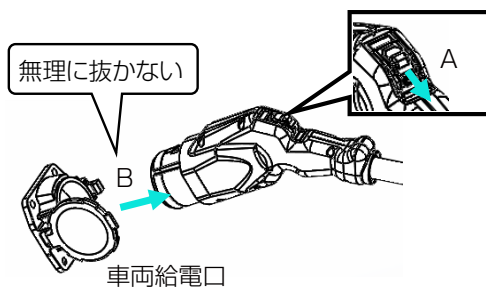
- ① 停止ボタンを押す。  
 ・ 停止ボタンが点滅から開始ボタンの点灯に変わると、給電コネクタの取り外しが可能となります。



- ・ 停止ボタンは、硬いものや先が鋭利なもので押さないでください。

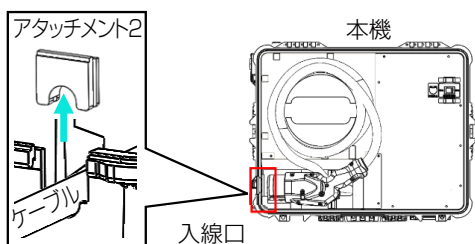
⚠ 警告	
⚠	・ 高温になっているため、停止後しばらくは排気口にふれないでください。

- ② コンセントから電気機器のプラグを抜く。  
 ③ 車両の給電口から給電コネクタを抜く。  
 ・ コネクタの解除レバーを押し下げながら (A)、コネクタを給電口から引き抜いてください (B)。

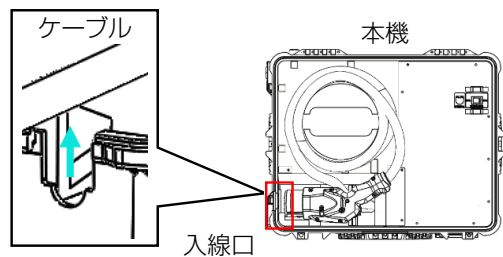


- ④ ふたを開け、アタッチメント2を取り外す。

⚠ 警告	
⊘	・ 手の挟み込みに注意してください。



- ⑤ ケーブルをケーブル入線口から外し、本機内に収納する。

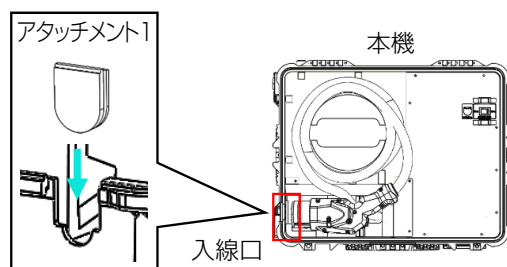


- ⑥ 12V 電源ケーブルを外す。

⚠ 注意	
⚠	・ 12V IN のキャップの閉め忘れに注意してください。

- ⑦ アタッチメント1を本機のケーブル入線口に取り付ける。

⚠ 注意	
⚠	・ アタッチメント1の付け忘れに注意してください。



- ⑧ ふたを閉める。

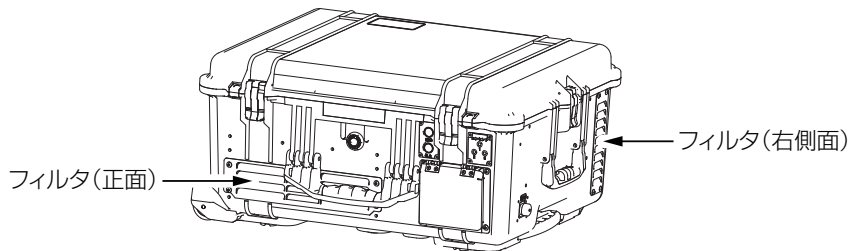
⚠ 注意	
⚠	・ ロックのし忘れに注意してください。 ・ 手の挟み込みに注意してください。

# フィルタ脱着手順

フィルタのお手入れの際、以下の手順でフィルタを脱着してください。

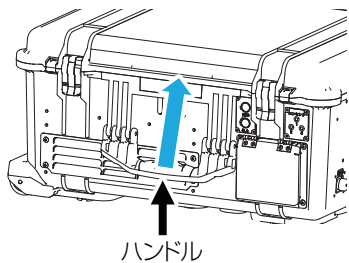
フィルタは、本機の正面と右側面についています。

※プラスドライバーをご用意ください。

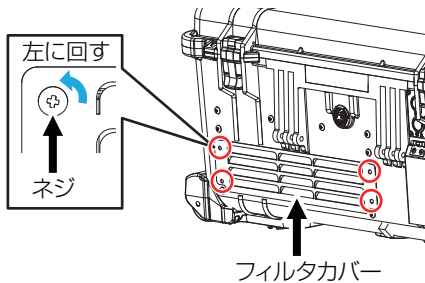


## フィルタ（正面）の脱着手順

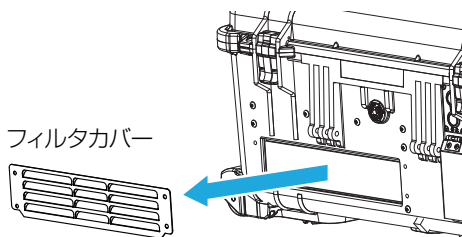
① 正面のハンドルを立てる。



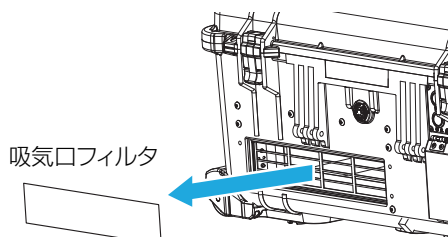
② プラスドライバーで、正面のフィルタカバーのネジを取り外す。(4か所)



③ フィルタカバーを取り外す。



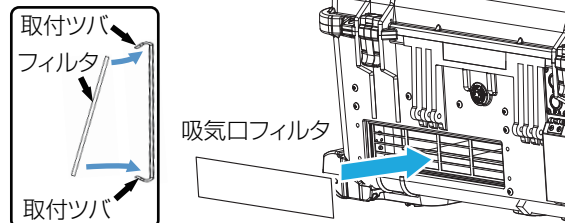
④ フィルタ（正面）を手前に引っ張って取り外す。



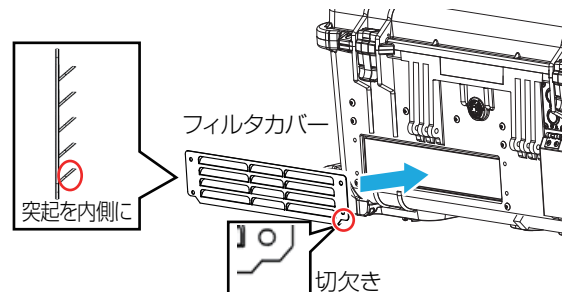
⑤ 新しいフィルタ（正面）を取り付ける。

- ・ フィルタ（正面）の上下を取付ツバにはめ込んでください。

フィルタ取り付け位置(断面図)



⑥ フィルタカバーを正面に押し当てる。

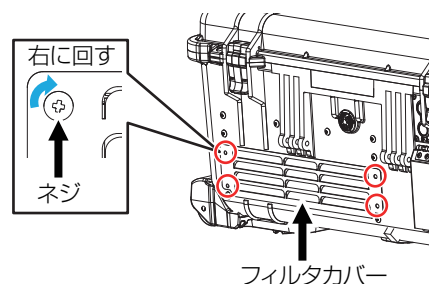


### ⚠ 注意



- ・ 取り付け方向に注意してください。
  - フィルタカバーの突起面を内側にしてください。
  - フィルタカバーの切欠き部を下にしてください。

⑦ プラスドライバーを使って、ネジでフィルタカバーを正面に固定する。(4か所)

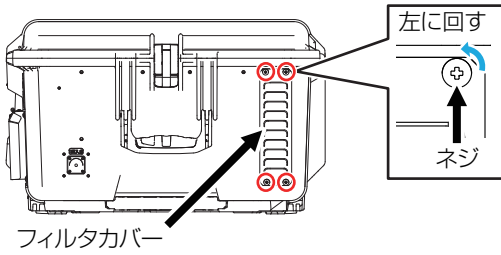


⑧ 正面のハンドルを戻す。

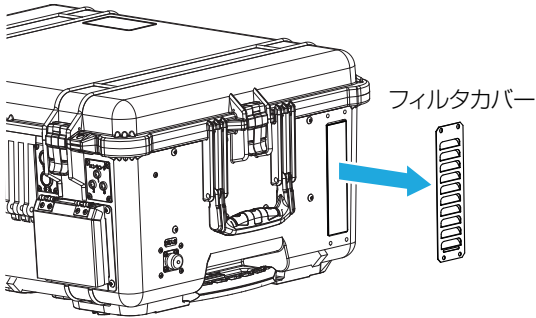


## フィルタ（右側面）の脱着手順

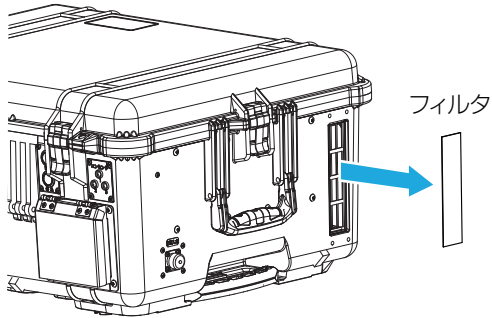
- ① プラスドライバーで、右側面のフィルタカバーのネジを取り外す。（4か所）



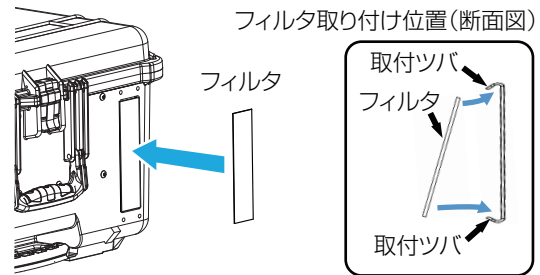
- ② フィルタカバーを取り外す。



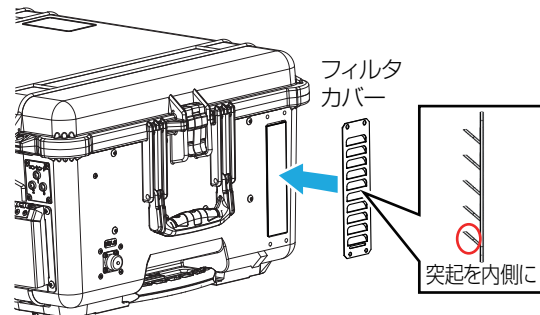
- ③ フィルタ（右側面）を手前に引っ張って取り外す。



- ④ 新しいフィルタ（右側面）を取り付ける。  
・フィルタ（右側面）の上下を取付ツバにはめ込んでください。



- ⑤ フィルタカバーを右側面に押し当てる。

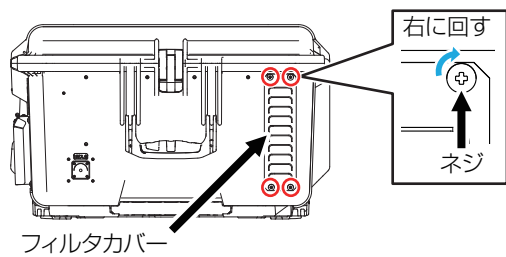


### ⚠ 注意



- ・ 取り付け方向に注意してください。  
- フィルタカバーの突起面が内側、突起の先端を上にしてください。

- ⑥ プラスドライバーを使って、ネジでフィルタカバーを右側面に固定する。（4か所）





# 本機の運搬方法

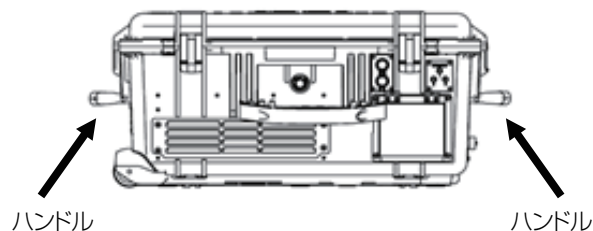
## ハンドルを使っての運搬方法

### ⚠ 注意



- 給電コネクタを収納し、本機のふた、コンセントカバーを閉じた状態にして、2人で搬送してください。
- ハンドルと本体の間で指を詰めないように注意してください。
- 足の上に落とさないよう注意してください。

- ① 本機側面のハンドルを持ち、腰の高さまで水平に持ち上げる（2人で行うこと）。
- ② 落下させたり、衝突させたりしないよう注意して搬送する。



# 保管・お手入れの方法

- 本機停止後は十分に冷えてから片づけてください。

⚠ 警告	
⚠	・ 故障の原因となるだけでなく、火災を引き起こす可能性があります。

- 本機の上に物を載せないでください。

⚠ 注意	
⚠	・ 本機を傷つけたり、破損する恐れがあります。

- 汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意	
⚠	・ 薬品、油類などを使用したり、本機を水洗いしないでください。内部の電気部品がショートする可能性があります。

## 長期間ご使用にならない場合

いつでも本機を活用できるように定期的な点検と動作確認をしてください。

- ・ 点検
  - 変形や破損などの異常がないか。
  - フィルタの汚れ、つまりがないか。
- ・ 動作確認
  - 正常に給電動作するか（最低年 1 回 30 分程度の連続運転を実施してください）。

異常を感じた場合は使用を中止し、弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)

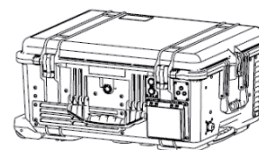
## 快適にご使用いただくために

- 快適にご使用いただくために、吸気フィルタのお手入れをしてください。
  - ・ フィルタにほこり、ごみなどが詰まっている場合は、水または中性洗剤で洗浄して自然乾燥させた後、再度取り付けてご使用ください。掃除機による吸引や油類の付着は避けてください。
- 高温多湿になる場所は避け、ほこりがたまらないように保管してください。
- 雨や水、雪がかかる場所には保管しないでください。
- 車両には保管しないでください。

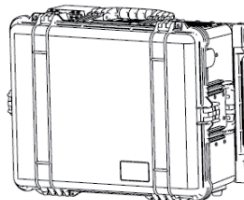
- 指定された向き以外の姿勢では、保管しないでください。

- ・ 本機は、平坦で安定した場所に下図の姿勢で保管してください。裏向きでの保管はしないでください。
- ・ 横置き、縦置きで保管する場合は、転倒防止をしてください。
- ・ 棚の上など、高所での保管はしないでください。
- ・ 給電コネクタを収納し、本機のふた、コンセントカバーを閉じた状態で保管してください。
- ・ キャリーハンドルを収納した状態で保管してください。
- ・ 上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

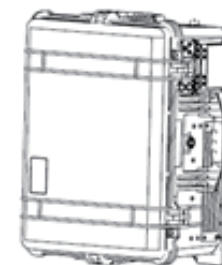
平置き（ふたが上）



横置き



縦置き



- 次のような場所には保管しないでください。

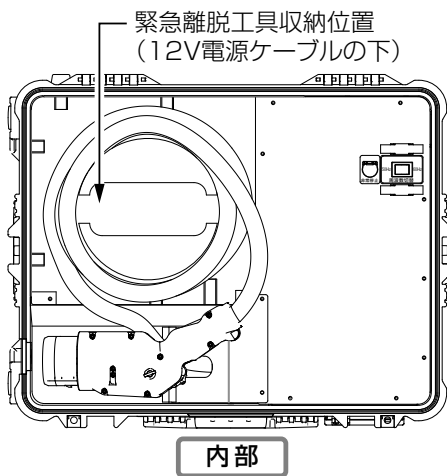
- ・ 車両の中
- ・ 温泉、火山など、腐食性ガスがかかる場所
- ・ 海水がかかったり、潮風が当たるところ
- ・ 直射日光のあたるところ
- ・ 砂、粉塵の多いところ
- ・ 標高 1600m より高いところ

# 給電コネクタが取り外せなくなった場合の処置

- 給電が停止していることを確認してください（給電中は給電コネクタがロックされています）。
- 一度給電を実施すると外せる場合があります。
  - ・ 開始手順（8 ページ）に従って給電をした後、給電を停止し、もう一度給電コネクタを取り外してください。
  - ・ 症状が変わらない場合は、以下の手順で取り外してください。

重要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給電コネクタ緊急離脱工具の入った袋を開封すると、同封の取扱説明書の記載内容に同意したこととなります。</li> <li>・ 緊急離脱工具を使って給電コネクタを取り外した場合、給電コネクタは使えなくなります。</li> </ul>

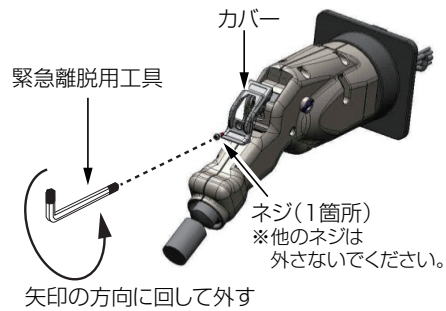
- ① 下図の収納位置から緊急離脱工具入りの袋を取り出す。



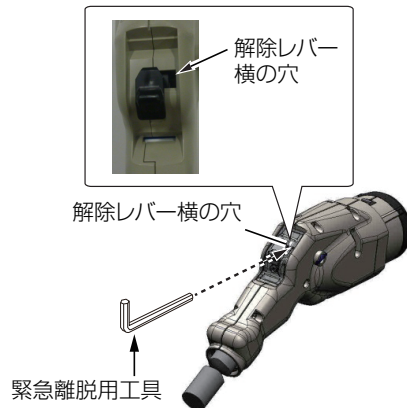
- ② 袋の上から緊急離脱工具取扱説明書の「開封前にお読みください」を読む。
- ③ 「開封前にお読みください」の内容に同意してから袋を開ける。
- ④ 給電コネクタ緊急離脱工具取扱説明書を読む。
- ⑤ 給電コネクタ緊急離脱工具取扱説明書の手順に従って作業する。

⚠ 警告	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機のランプがすべて消灯し、12V電源ケーブルが接続されていない状態で作業してください。また、車両からの電源も切ってください。感電の原因となります。</li> <li>・ 濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。</li> <li>・ 緊急離脱をした場合は、必ず弊社のお客様相談室にご連絡ください。（18 ページ）</li> </ul>

1. 緊急離脱用工具を使用して、グリップのネジを外し、カバーを外す。



2. カバーを外した後、解除レバーの横の穴に付属の緊急離脱用工具を押し込む。
  - ・ 奥まで押し込まないと、取り外しできない場合があります。



3. 緊急離脱用工具を下げながら、給電コネクタをゆっくりと給電口から引き抜く。
  - ・ 本工具を使用した場合は、給電コネクタ内部のスイッチがオフとなり、サービスマンによる点検・修理が必要となります。取り外し完了後に弊社のお客様相談室にご連絡ください。（18 ページ）

工具を下に下げる



# こんなときは

## 電源が入らない

- 車両が給電できる状態になっていない。
  - ・ 車両を給電できる状態にしてください。
  - ・ 車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
- 給電コネクタが確実に接続されていない。
  - ・ 給電コネクタを車両の給電口に確実に接続してください。
- 12V 電源ケーブルが確実に接続されていない。(車両により不要な場合があります。)
  - ・ 12V 電源ケーブルを車両と本機の 12V IN に確実に接続してください。
- 12V 電源ケーブルのプラグ内のヒューズが切れている。
  - ・ ヒューズを交換してください。  
樹脂部先端を左に回すとキャップが外れ、ヒューズが取り出せます。



参考) 交換用ヒューズ仕様：  
ガラス管ヒューズ  
定格電圧 125V  
定格電流 6A  
サイズ  $\phi$  6.4 × 30mm

### ⚠ 注意



- ・ 指定以外のヒューズを使用しないでください。
- ・ 何も接続していないケーブル単体の状態で、ヒューズの確認・交換をしてください。

- ・ 開始手順 (8 ページ) に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、使用を中止して、弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)

## 運転準備完了にならない

- 非常停止ボタンが押されている。
  - ・ 非常停止ボタンを押し戻してください。
  - ・ 電源を切った後、開始手順 (8 ページ) に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、使用を中止して、弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)
- 内部の温度が高くなっている。
  - ・ 直射日光が当たらない場所、風通しの良い場所でお使いください。
  - ・ 内部の温度が下がるまで待った後、開始手順 (8 ページ) に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、使用を中止して、弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)

## 開始ボタンを押しても出力中にならない

- 車両が給電できる状態になっていない。
  - ・ 車両を給電できる状態にしてください。
  - ・ 車両の種類により操作方法が異なりますので、詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。
- 車両の電池残量が低下している。
  - ・ 車両を充電した後、ご使用ください。
- 給電コネクタが確実に接続されていない。
  - ・ 給電コネクタを車両の給電口に確実に接続してください。

- ※ どの状態にも当てはまらない場合は、電源を切った後、開始手順 (8 ページ) に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、使用を中止して、弊社のお客様相談室にご連絡ください。(18 ページ)

## 使用する電気機器の電源が入らない

- 電気機器の電源プラグがコンセントに完全に接続されていない。
  - ・電源プラグを電気機器に確実に接続してください。

## 運転状態ランプが点滅している

- ・電気を使いすぎています。点滅している番号のコンセントで使う電気を減らしてください。

## 運転中に一部の電気機器の電気が切れた (開始ランプが点滅し運転状態ランプのいずれかが消灯している)

- 電気の使用量がコンセント容量を超えたため、保護機能が働いた。
  - ・消灯している番号のコンセントで使う電気を減らした後、開始ボタンを押してください。症状が変わらない場合は、開始手順（8 ページ）に従って開始操作をしてください。それでも症状が変わらない場合は、使用を中止して、弊社のお客さま相談室にご連絡ください。（18 ページ）

※ 電気を使いすぎると保護回路が働き、使いすぎのコンセントへの電気の供給を自動的に停止することがあります。一部の電気機器や電動工具・汎用モータ類など製品の種類によっては、コンセント 1 個あたりの消費電力が 1500W 以下であっても、起動時に大きな電流が流れ（瞬間電力が 1500W を超え）て使用できないものがあります。その場合は保護機能が働き自動的に停止することがありますが、故障ではありません。

## 運転が停止した

運転が停止し、停止ランプだけが点灯してブザーが鳴っている場合は、以下を確認してください。

- 非常停止ボタンが押された。
  - ・非常停止ボタンを押し戻して電源を切った後、開始手順（8 ページ）に従って開始操作をしてください。非常停止ボタンが押されていない場合は、電源を切った後、開始手順（8 ページ）に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、弊社のお客さま相談室にご連絡ください。（18 ページ）
- 装置または車両に異常が発生した。
  - ・電源を切った後、開始手順（8 ページ）に従って開始操作をしてください。症状が変わらない場合は、弊社のお客さま相談室にご連絡ください。（18 ページ）

ブザーが鳴らずに停止している場合は、以下を確認してください。

- 車両の電池残量が低下している。
  - ・車両を充電した後、ご使用ください。
- 車両が給電できる状態になっていない。
  - ・車両を給電できる状態にしてください。車両によって、給電運転の条件により車両が給電を停止する場合があります。詳細は、車両の取扱説明書をご確認いただくか車両販売店にお問い合わせください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

保証については保証書をご確認ください。

## アフターサービスについて

- ご不明な点や修理に関するご相談は、下記お客様相談室にお問い合わせください。
- お客様相談室にお問い合わせされる場合は、次のことをご確認ください。
  - ・装置の型式と製造番号  
※保証書添付のラベル、もしくは本体内部周波数切替スイッチ付近に貼られているラベルをご確認ください。
  - ・ご購入時期
  - ・故障の場合は、故障状況（故障発生時の運転状況、ランプ類の点灯状態、発生日時や天候など）

## 困ったときの連絡先

ニチコン株式会社 お客様相談室

電話番号 0120 - 215 - 023（フリーダイヤル）

受付時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（土・日・祝日・休業日は除く）

## 仕様

項目	仕様	備考
製品名	EVパワー・ステーション「パワー・ムーバー」	
型式	VPS-4C1A	
設置場所	屋外 <sup>*1</sup>	
使用温度範囲	-10～40℃ <sup>*2</sup>	
入力電圧範囲	DC150V～450V	
定格出力電圧・周波数	AC100V、50Hz/60Hz	周波数切替スイッチによる切り替え
定格出力電力	4.5kVA <sup>*2</sup>	AC100V 15A コンセント×3個
制御電源作動電圧範囲	DC10～16V	
充電ケーブル	V2L ガイドライン 2.1 準拠	ロック機構：自己保持型 ケーブル長 2m
冷却方式	強制冷却方式	
付属品	12V 電源ケーブル 長さ 5m 給電コネクタ緊急離脱工具（取扱説明書付） 1個	
質量	約 38kg	
外形寸法	631mm (W) X 500mm (H) x 305mm (D) 突起部含む	

※1：雨や雪など水のかからない場所。高温多湿とならない風通しの良い場所。

※2：ご使用の環境および電気の使用量により出力を停止する場合があります。

# *Memo*

---

**nichicon**

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<http://www.nichicon.co.jp>

- この取扱説明書はリサイクルペーパーを使用しています。